

斜面防災技術 124号 (Vol. 42 No. 2) より
講座 実践地表地質踏査法 –わたしの歩き方教えます–

今月 (2015年8月) 発刊の「斜面防災技術」124号 (Vol. 42 No. 2) に、高知大学名誉教授 横山俊治氏の執筆による講座「実践地表地質踏査法 –わたしの歩き方教えます–」が掲載されています。

最近では大学でも「山を歩ける」学生がいなくなったという声をよく耳にします。それどころか、「山を歩ける」教員すらいなくなったということも言われています。各種の新技术によって地質調査の分野での発達には目覚ましいものがあります。しかし、地質コンサルタントの技術者にとって「山を歩ける」技量は「きほんのき」であって、机上での分析・解析技術はそんな「きほん」の上に成り立つものと考えます。

以前、複雑な地層構成を持つ現場での構造物基礎調査で、「ボーリングを1mピッチでやらないとわからない」と豪語(?)していた技術屋さんがいました。まさに地質技術者の役割を放棄する、それどころか存在を否定するに等しい言葉に驚いたことがあります。

この講座では、大学や地質コンサルタント会社で長い間地質調査に携わってこられた高知大学の横山俊治名誉教授によって、これまでのご経験に基づいた地表踏査の「秘伝」が分かりやすく具体的に執筆されています。今回から3回シリーズで掲載されるということで、地質コンサルタントの技術者にはぜひ読んで学び、実践していただきたいと思えます。

2015年8月12日 技術アドバイザー 横田 寛